

ハートフル ローリングドア

このたびは、AK製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

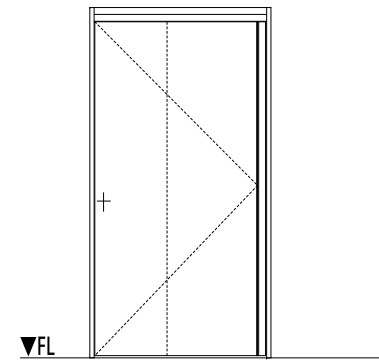
⚠ 施工にあたってのご注意

- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付けをしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

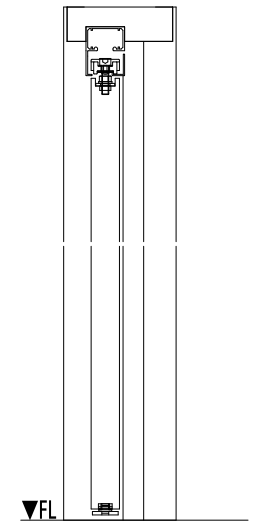
部品名		縦枠 戸先側	縦枠 戸尻側	上枠	戸当り
枠	縦枠 戸先側				
	縦枠 戸尻側				
	上枠				
	戸当り 戸先側				
	フィラー定規				
	枠組立ビス 3.5×50				
	躯体取付ビス 4.2×62				
金物	コ型アーム				
	上レール				
	吊車				
	下部ヒンジ				
	専用リング				
	調整スパナ				
	六角レンチ				
	下部ヒンジ取付ビス 3.5×25				
レール取付ビス 4×40					
扉	ローリング扉				
	レバーハンドル				
調整スパナ	六角レンチ	下部ヒンジ取付ビス 3.5×25	レール取付ビス 4×40		

納まり図

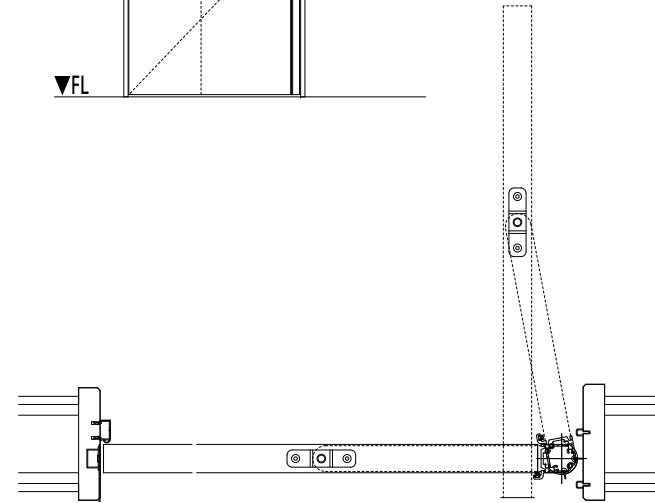
姿図



縦断面図



横断面図



取付け順

1. 枠の組立て・取付け

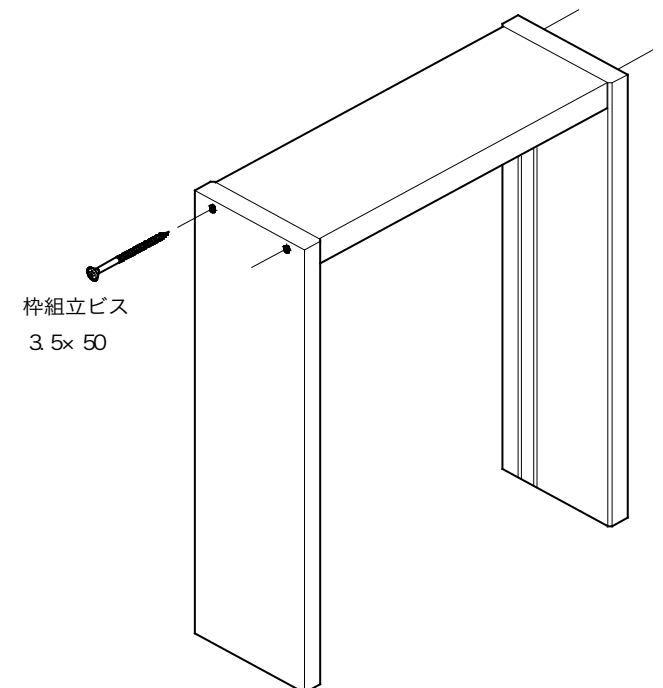
- ① 枠組立ビスで枠を組み立ててください。
枠にはビスのリード穴があります。

◆**枠組立ビス** 皿木 3.5×50

- ②躯体取付ビスで枠を躯体に固定してください。

◆躯体取付ビス 皿木 4.2×62

注意 垂直・水平を必ず確認し、ねじれ・傾き・変形などないように施工してください。

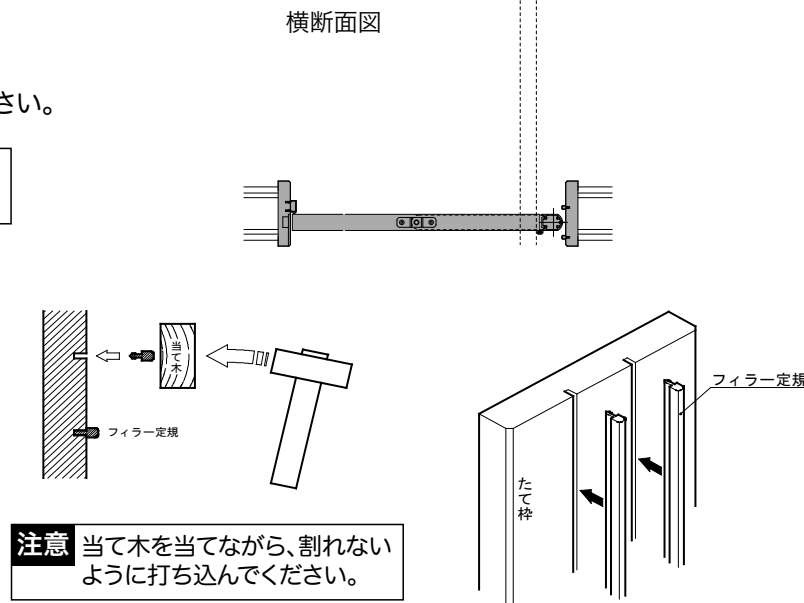
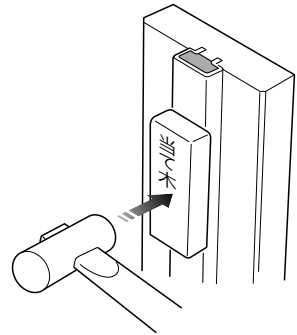


2. 部品の取付け

《戸当り／フィラー定規の取付け》

- ①戸先側縦枠に戸当りを打ち込んでください。
- ②戸尻側縦枠にフィラー定規を打ち込んでください。

注意 戸当りの向きに注意してください。

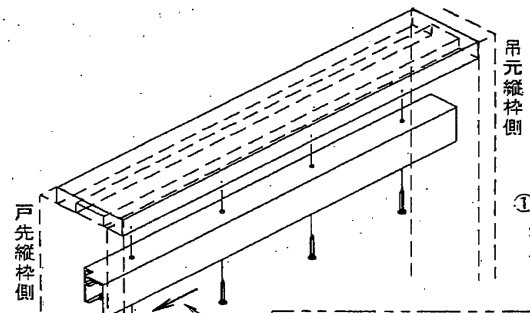


注意 当て木を当てながら、割れないように打ち込んでください。

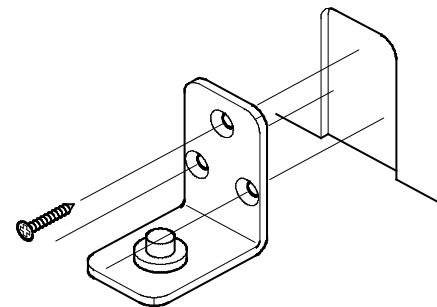
《上レール／下部ヒンジの取付け》

- ①上レールを上枠に付属のビスで取り付けてください。
- ②下部ヒンジを付属のビスで戸尻側縦枠に取り付けてください。

注意 部品の向きに注意してください。



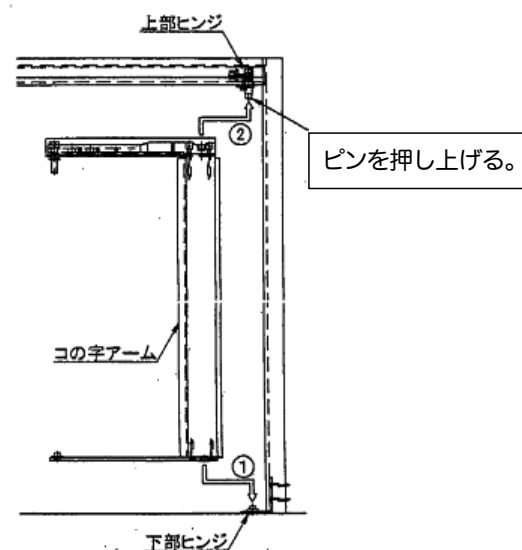
※戸先側を縦枠に突き当てて取り付けてください。



《コ型アームの取付け》

- ①最初に下部ヒンジにコ型のアームを差し込みます。
- ②次に上部ヒンジのピンを押し上げながら、コ型アームの側面から差し込んでください。

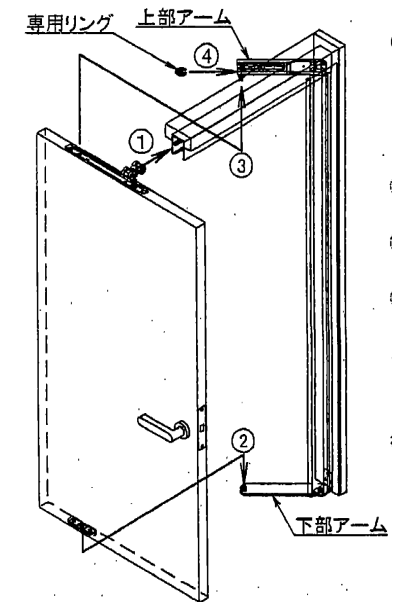
注意 上部のピンはコ型アームの側面から差し込んでください。



3. 扉の吊込み

《吊込み》

- ①吊車を扉上部金物の戸先側に取り付け、扉を上枠と直角の向きにし、吊車を戸先側レール端部より入れてください。
- ②下部アームの先端ピンを扉下場の金物に取り付けてください。
- ③上部アームの先端ボルトをドア上の金物に取り付けてください。ボルト付属のナットは下にした方が入りやすくなります。
- ④専用リングを先端ボルトの上部アーム下へ取り付けてください。

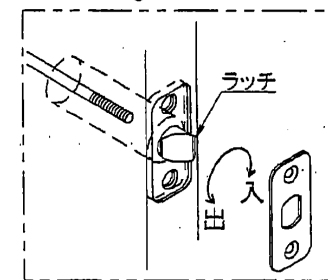


《レバーハンドルの取付け》

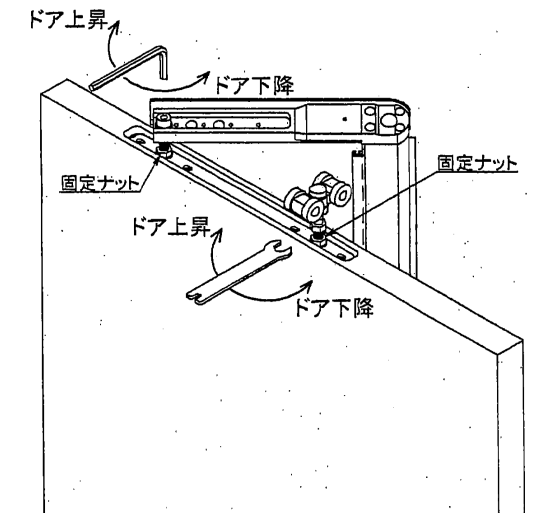
- ①レバーハンドルの取付けは、レバーハンドルに付属の説明書をご覧ください。

《建付け調整》

- ①上下調整
 - ・戸先側：吊車の調整ナットを付属のスパナで回して調整します。
 - ・戸尻側：上部アームの先端ボルトを付属の六角レンチで回して調整します。
- ②左右調整
 - 扉上部の金物取付け位置をずらして調整します。
- ③戸尻のラッチを回転させてラッチの出入りを調整できます。



注意 ラッチの方向を開閉に合わせてください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。